

「平成25年度電波の利用状況調査」の調査・評価結果（北陸局版）の概要

1. 平成25年度調査の調査対象周波数帯(714MHz超 3.4GHz以下)

北陸の電波の利用状況

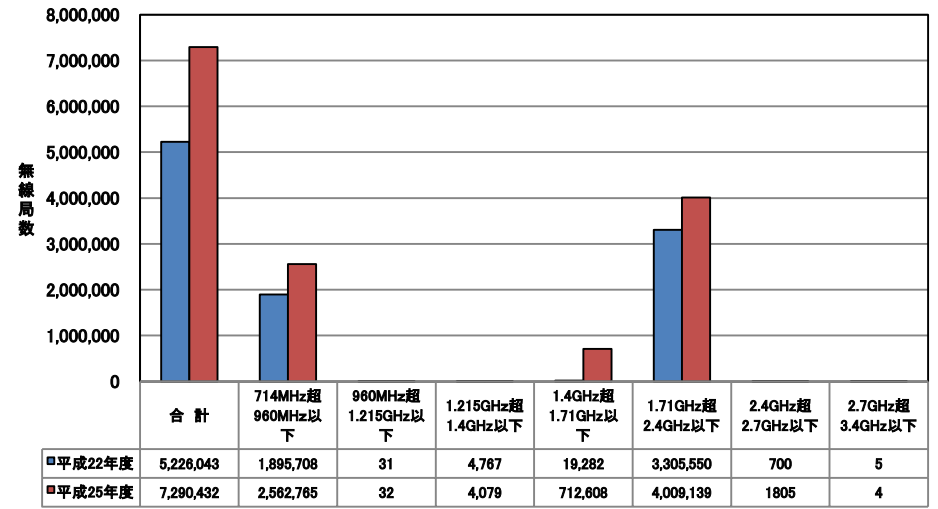
714MHzを超え3.4GHz以下の周波数全体の平成25年度における無線局数は、全国では平成22年度の243,114,760局から363,263,697局に増加(49.4%)、北陸局管内では平成22年度の5,226,043局から7,290,432局に増加(39.5%)しており、携帯無線通信を中心に多くの無線局に利用されている。

700/900MHz帯の周波数再編の対象となっているMCA無線については、全ての無線局において周波数の移行が完了している。

714MHz超3.4GHz以下の周波数を使用する無線局の主な用途

- ① 714MHz超960MHz以下：800MHz帯、900MHz携帯無線通信
- ② 960MHz超1.215GHz以下：ATCRBS(航空交通管制レーダービーコンシステム)、航空用DME/TACAN、ACAS(航空機衝突防止システム)
- ③ 1.215GHz超1.4GHz以下：1.2GHz帯アマチュア無線
- ④ 1.4GHz超1.7GHz以下：1.5GHz帯携帯無線通信
- ⑤ 1.71GHz超2.4GHz以下：2GHz帯、1.7GHz帯携帯無線通信
- ⑥ 2.4GHz超2.7GHz以下：広帯域移動無線アクセスシステム
- ⑦ 2.7GHz超3.4GHz以下：3GHz帯船舶レーダー

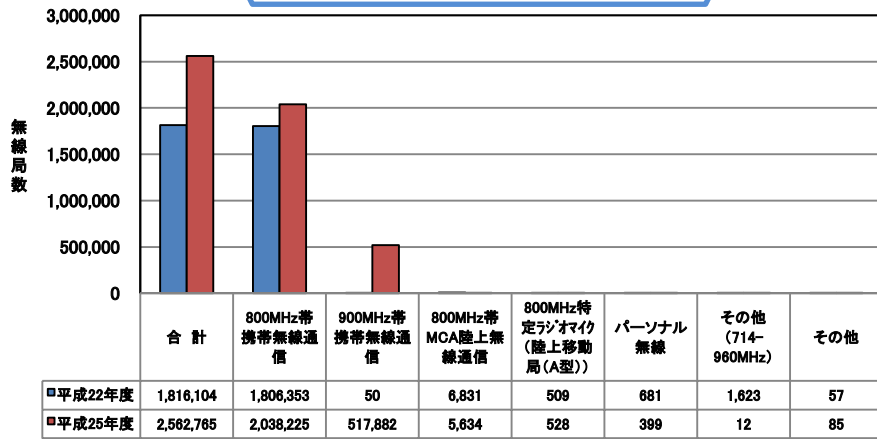
周波数区分全体の利用状況



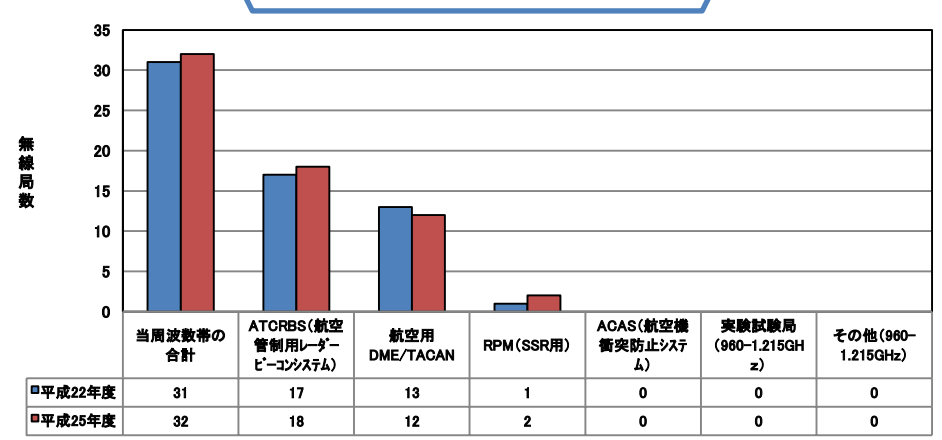
[参考]
総務省報道資料
平成25年度電波の利用状況調査の評価結果及び意見募集の結果

2. 周波数区分ごとの調査・評価結果

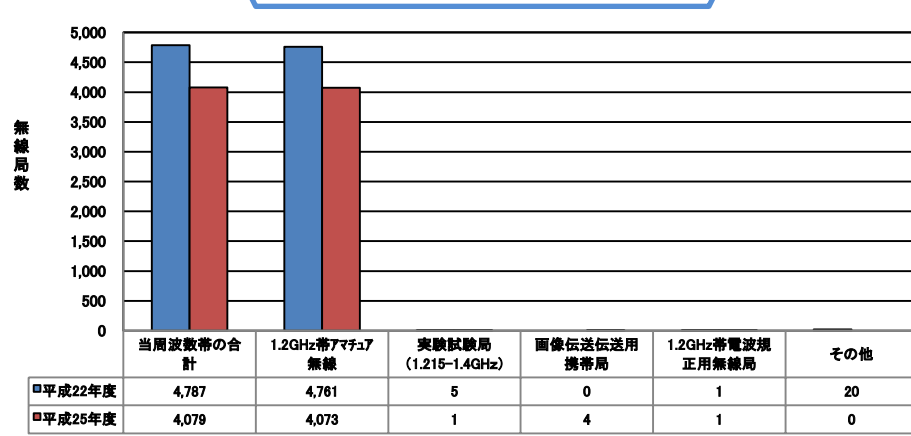
714MHz超 960MHz以下



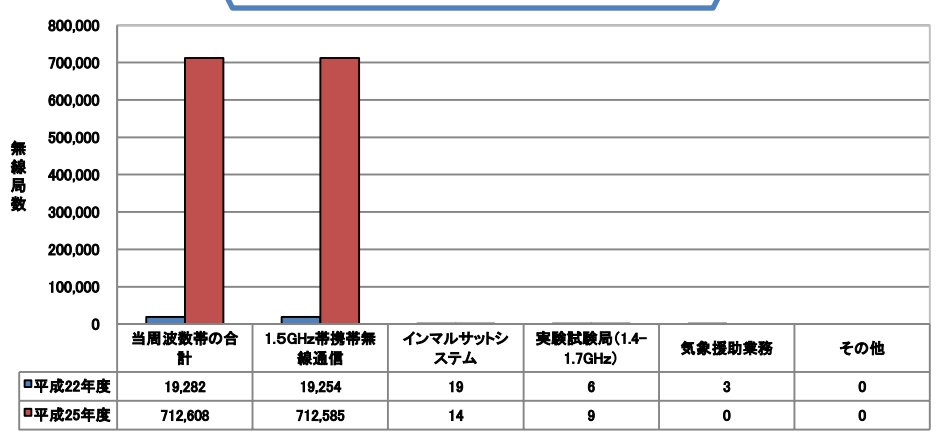
960MHz超 1.215GHz以下



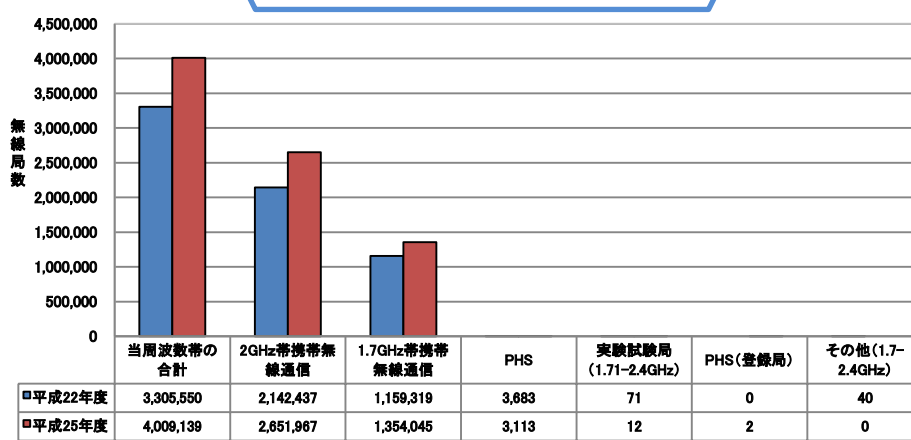
1.215GHz超 1.4GHz以下



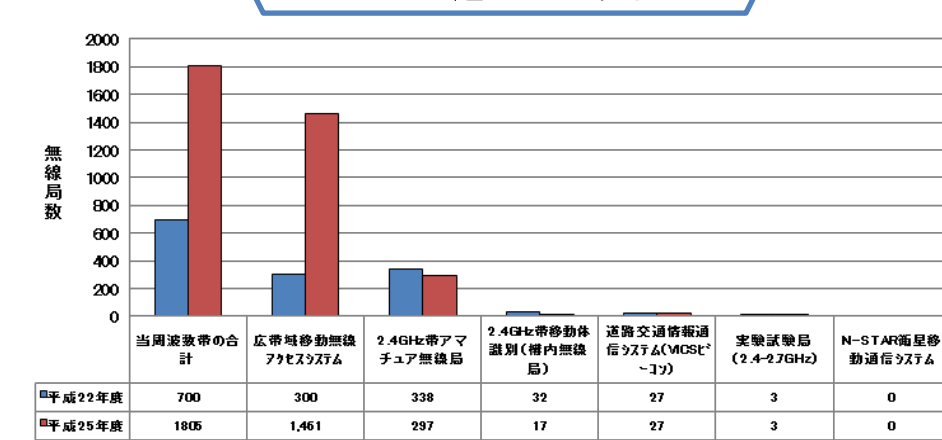
1.4GHz超 1.71GHz以下



1.71GHz超 2.4GHz以下



2.4GHz超 2.7GHz以下



2.7GHz超 3.4GHz以下

